

『コロナ危機の経済学』 (第3回イントロダクション)

2020年8月

森川正之 (RIETI / 一橋大学)



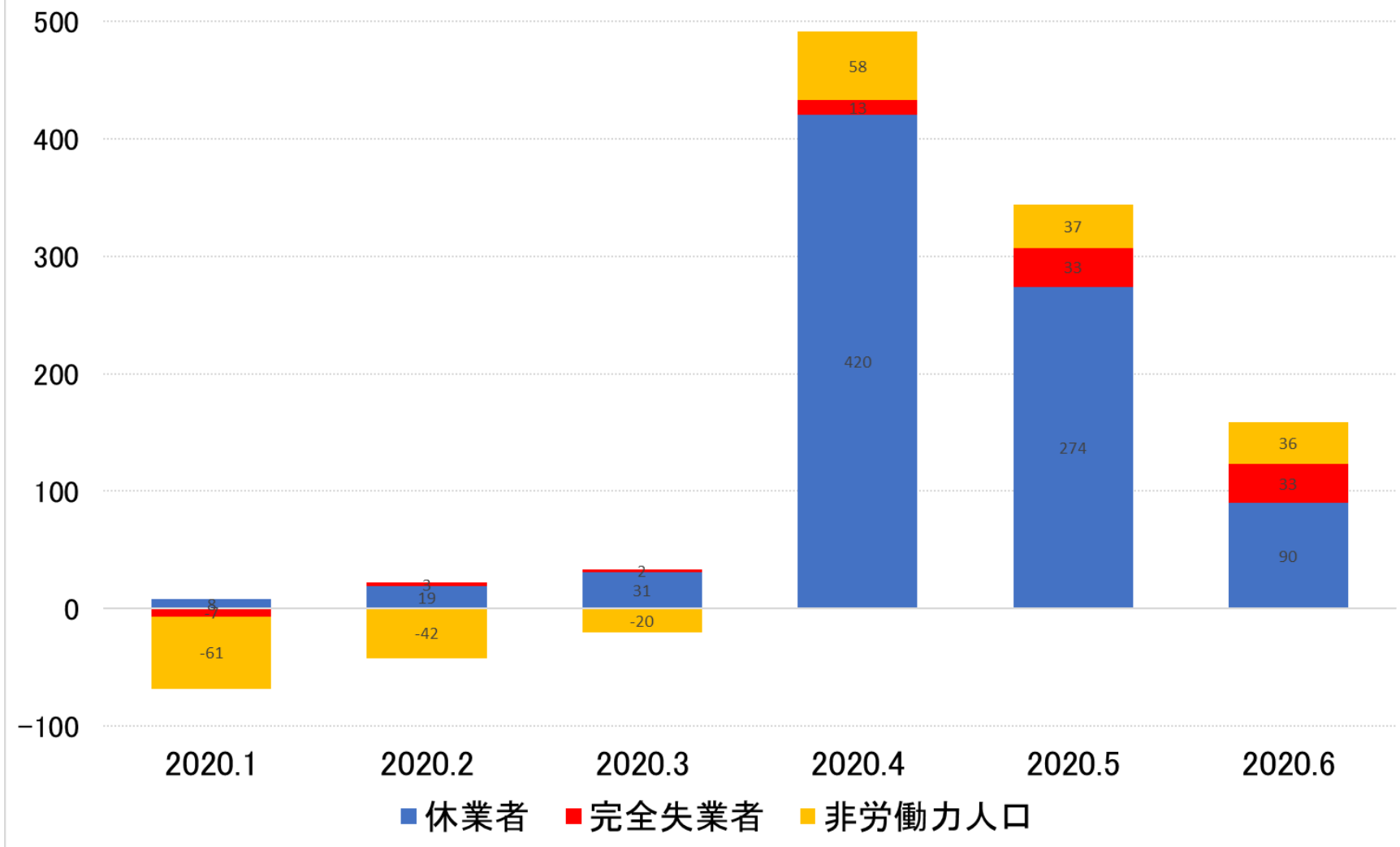
『コロナ危機の経済学』構成

- 序章 コロナ危機と日本経済(森川正之)
- 第1章 コロナ危機の経済政策:経済社会を止めないために「検査・追跡・待機」の増強を(小林慶一郎・奴田原健悟)
- 第2章 コロナ危機の現状、政策対応及び今後の課題:「大いなる制度変化」に向けて(鶴光太郎)
- 第3章 パンデミックにも対応できるセーフティネットの構築(八田達夫)
- 第4章 コロナ経済対策について:財政の視点から(佐藤主光)
- 第5章 迅速な現金給付と「デジタル政府」の重要性:COVID-19の出口戦略も視野に(小黒一正)
- 第6章 コロナ後のグローバル化のゆくえ(戸堂康之)
- 第7章 新型コロナウイルスと食料安全保障(山下一仁)
- 第8章 社会的距離政策・外部性・デジタル技術(楡井 誠)
- 第9章 コロナ危機で露呈した医療の弱点とその克服(土居丈朗)
- 第10章 ポスト・コロナのフューチャー・デザイン(中川善典・西條辰義)

構成(続き)

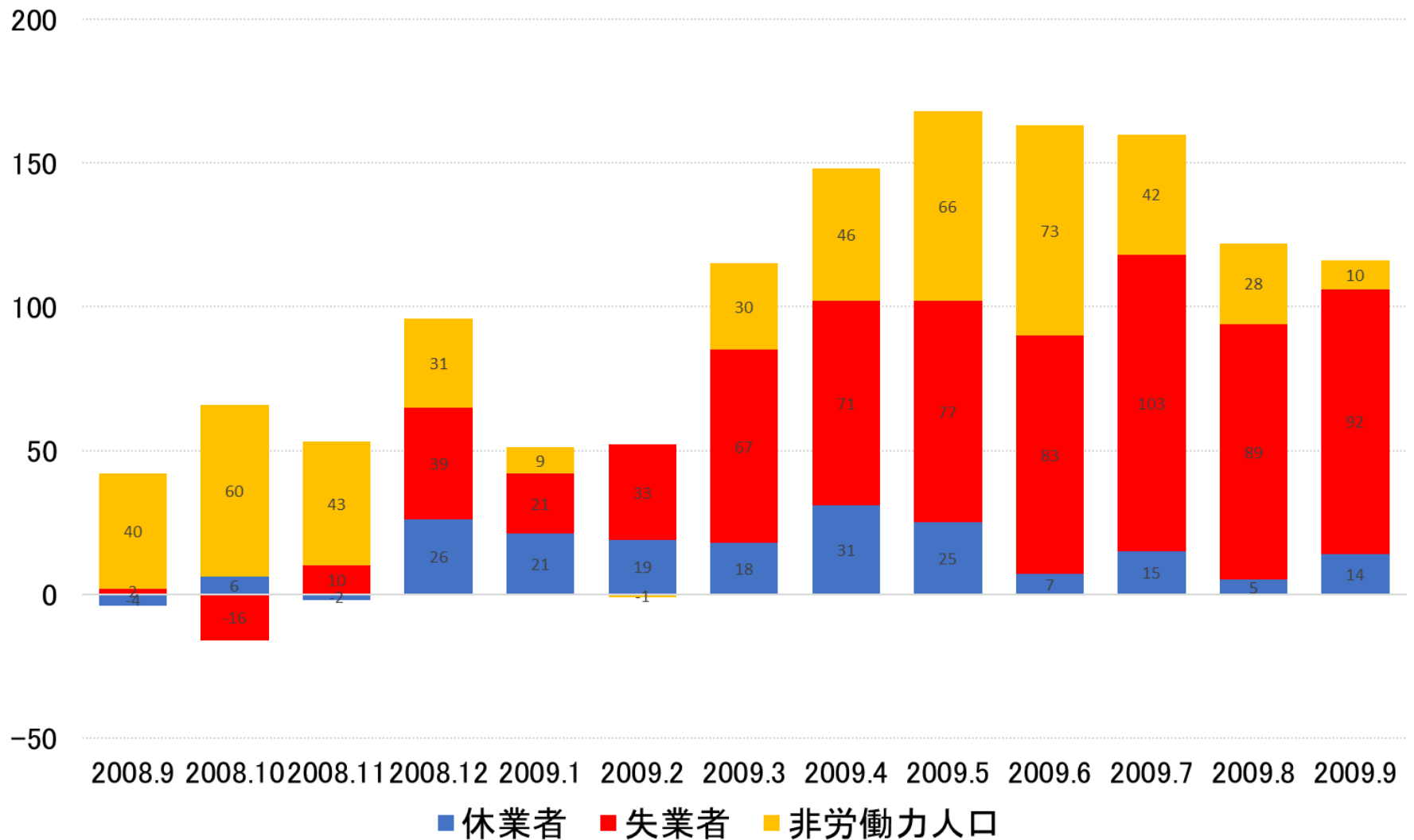
- 第11章 感染症のSIRモデルと新型コロナウイルスへの基本戦略(関沢洋一)
- 第12章 創薬による新型コロナウイルス危機の克服(長岡貞男)
- 第13章 POSで見るコロナ禍の消費動向(小西葉子)
- 第14章 コロナ危機後の行動制限政策と企業業績・倒産:マイクロデータの活用による実態把握(宮川大介)
- 第15章 新型コロナウイルス危機による労働市場への影響と格差の拡大(菊池信之介・北尾早霧・御子柴みなも)
- 第16章 新型コロナウイルスと労働時間の二極化:エッセンシャル・ワーカーの過重労働と日本の働き方改革(黒田祥子)
- 第17章 森川正之 コロナ危機と在宅勤務の生産性(森川正之)
- 第18章 文明としての都市とコロナ危機(藤田昌久・浜口伸明)
- 第19章 感染症対策と都市政策(近藤恵介)
- 第20章 パンデミックの長期的課題:子供への影響を中心に(中田大悟)
- 終章 コロナ後の経済・社会へのビジョン:ポストコロナ八策(小林慶一郎・佐藤主光)

コロナ危機下の休業者・失業者・非労働力人口(前年同期差, 万人)



(出典)「労働力調査」(総務省統計局)。

世界経済危機時の休業者・失業者・非労働力人口(前年同期差)



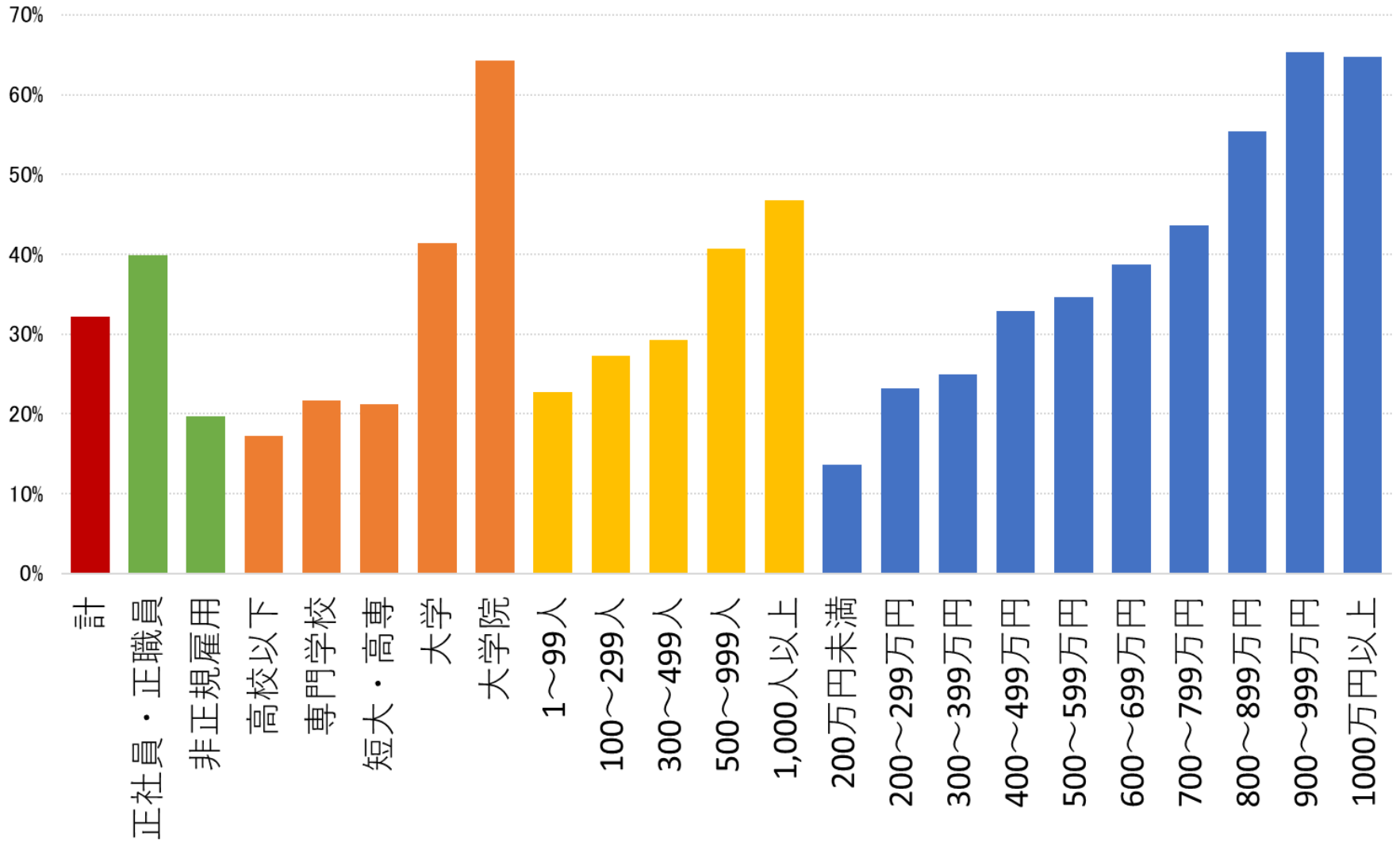
(出典)「労働力調査」(総務省統計局)。

参考資料

(最近のサーベイから)

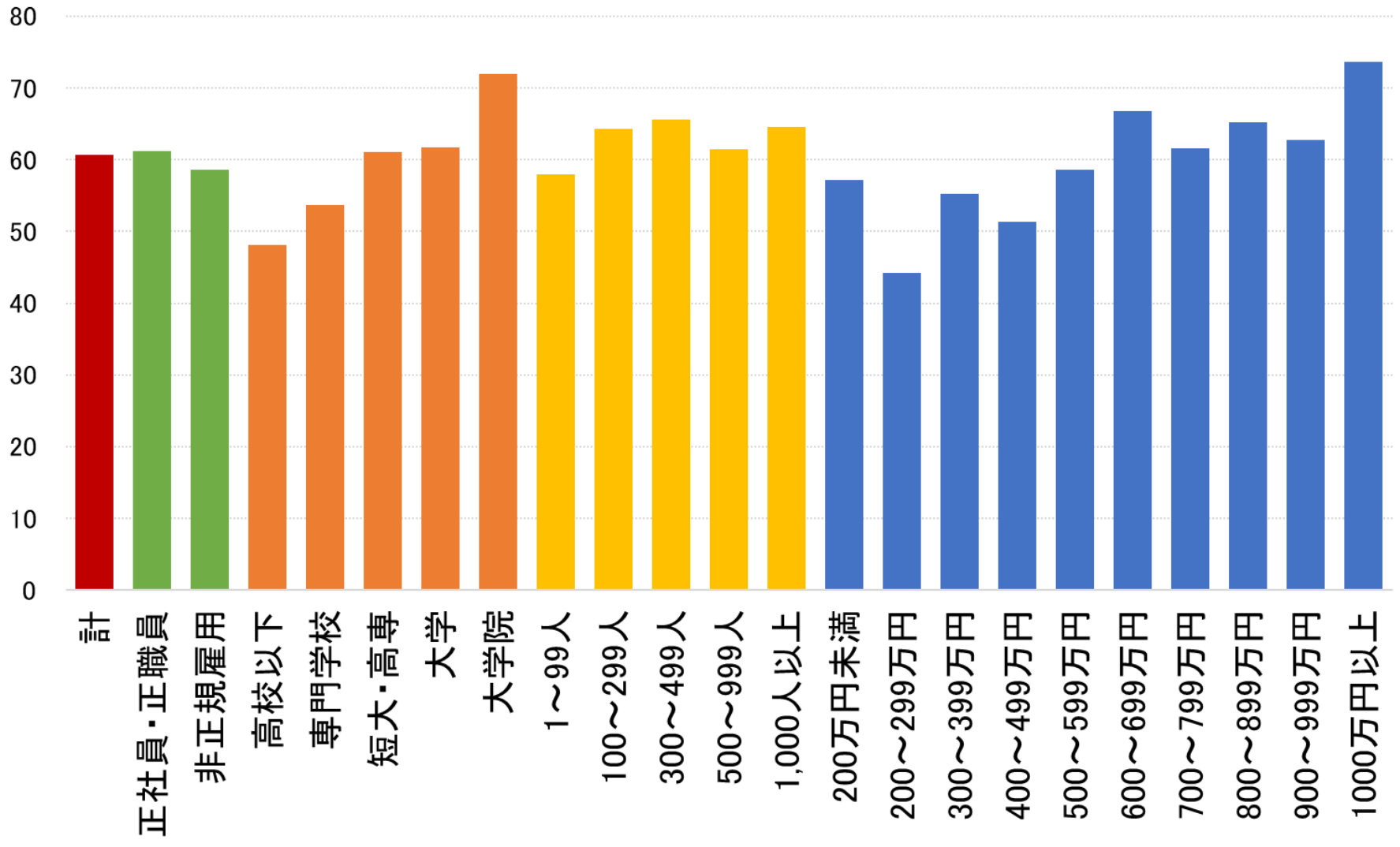
2020年6月下旬実施

在宅勤務実施率(2020年6月)



(出典) 森川正之 (2020). 「コロナ危機下の在宅勤務の生産性: 就労者へのサーベイによる分析」, RIETI Discussion Paper, 20-J-034.

在宅勤務の主観的生産性(職場=100)



(出典) 森川正之 (2020). 「コロナ危機下の在宅勤務の生産性: 就労者へのサーベイによる分析」, RIETI Discussion Paper, 20-J-034.